

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312057	保育内容(健康) The contents of childcare(health)	黒谷万美子・ 内田智子		専門	2	必修	1後期

科目の概要

この科目はDP2・3に記載している子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。乳幼児期の子どもの心と体の健康は、相互に密接な関連性をもっており、人や物などの多様な関わり合いのなかで、のびのびと体を動かして遊ぶことにより、諸機能(運動・認識・ことば)の発達が促される。さらに、遊びを体験していくなかで、体を動かす楽しさを味わい、安全について考え、自分の体について認識するようになっていく。本科目においては、子どもたちの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだすための、幼稚園・保育所(園)・こども園における保育内容「健康」の内容について学習し、教育・保育の留意点を考察する。

学修内容	到達目標
① 幼稚園・保育所(園)・こども園における領域、保育内容(健康)の内容を学修する。 ② 子どもの健康をめぐる現状について知り、課題点を学習する。 ③ 子どもたちの心身の発達と健康について学習し、教育・保育の留意点を考察する。 ④ 基本的な生活習慣の発達段階と援助方法について学習し、教育・保育の留意点を考察する。 ⑤ 子どもたちの健康な心と、体を育てるために必要な保育者の役割について理解し、保育で心がけなければならない安全指導について学ぶ	① 幼稚園・保育所(園)・こども園における領域、保育内容(健康)の内容を理解することができる。 ② 子どもの、健康をめぐる現状と課題を理解し、教育・保育の留意点を考察し説明することができる。 ③ 子どもたちの心身の発達と健康について理解し、教育・保育の留意点を考察し課題を分析することができる。 ④ 基本的な生活習慣の発達段階と援助方法について理解し、教育・保育の留意点を考察し課題解決法を提案することができる。 ⑤ 子どもたちの健康な心と、体を育てるために必要な保育者の役割と保育で心がけなければならない安全指導について理解し教育方法について発表できる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	学習課題に応じた事例や教材収集のために文献調査ができる。
	働きかけ力	問題解決のための意見交換ができる。
	実行力	学習課題に応じた事例や教材収集ができる。
考え抜く力	課題発見力	学習課題に応じた時事問題を知ることができる。
	計画力	見通しを持って課題作成に取り組める。
	創造力	過去の事例を踏まえて自分自身のアイデアを加えることができる。
チームで働く力	発信力	集団や他者に分かりやすく伝達することができる。
	傾聴力	他の集団や他者の意見を積極的に聴く姿勢ができる。
	柔軟性	課題達成のために、他の集団や他者の考えを融合することができる。
	状況把握力	集団や他者の考えと、自分自身の考えとの相違を理解することができる。
	規律性	授業内のルールに従って行動できる。
	ストレスコントロール力	発表時に落ち着いた姿勢で臨むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：特に指定しない。その他、毎回、授業課題と資料を配布する。
 参考文献：幼稚園教育要領(平成30年3月最新版)・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領(平成30年3月最新版)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育内容(健康)」は学科専門科目「保育の内容・方法に関する科目」として設定されており、その後履修する保育内容(環境)や保育内容(人間関係)の基礎となる科目である。
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
講義だけでなく、実技やグループワーク、模擬授業等、人や物との関わり合いを持ちながら授業が展開することから、主体的な受講姿勢が必要となる。積極的に予習・復習を行うこと。	・受講態度(学習意欲欠如、私語、課題やその他の提出物の未提出、など)が見られる場合は減点する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓		
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>保育内容（健康）の内容を理解するとともに、子どもの健康をめぐる現状と課題を踏まえ、教育・保育の留意点を考察できる。</p> <p>子どもたちの心身の発達と健康について理解し、基本的な生活習慣の発達段階と援助方法を身に付け、教育・保育の留意点を考察できる。</p> <p>子どもの健康な心身の成長に必要な保育者の役割と、安全指導について理解できる。</p>	<p>保育内容（健康）の内容を理解し、健康をめぐる現状と課題から教育・保育の留意点が見える。</p> <p>子どもたちの心身の発達と健康について理解し、教育・保育の留意点や基本的な生活習慣の発達段階と援助方法が見える。</p> <p>子どもの健康な心身の成長に必要な保育者の役割と、保育で心がけなければならない安全指導について理解できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 保育内容「健康」では、何を学ぶか 保育をめぐる状況① 乳幼児期の保育の重要性について学習する。 (黒谷)	・講義・DVD視聴	乳幼児期の保育の重要性について意見を述べられる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
2	保育をめぐる状況② 親のニーズと認定こども園制度 (黒谷)	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	保育をめぐる状況を理解し認定こども園制度について考察することができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
3	子どもの「健康」をめぐる現状と課題を情報機器を活用して考える。 ①子どもたちを襲う、体温異常について学び、夜更かしの代償について学習し、教育・保育の留意点を考察する。 (黒谷)	・講義・グループワーク・レポート提出(google classroom)・ポイント解説(Q&A)	子どもの生理機能を理解し、実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
4	子どもの「健康」をめぐる現状と課題情報機器を活用して考える。 ②乳幼児期の生活習慣の形成と遊びの中で育む生活習慣を学ぶ。 (黒谷)	・講義・グループワーク・レポート記述・ポイント解説(Q&A)	乳幼児期の生活習慣形成について理解し、実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
5	子どもの「健康」をめぐる現状と課題情報機器を活用して考える。 ③園環境と生活習慣の形成、生活習慣を育む保育者の役割など生活習慣と家庭との連携を考える。 (黒谷)	・講義・グループワーク・小テスト(google forms)を利用しフィードバック)・ポイント解説(Q&A)	生活習慣を育む保育者の役割と家庭との連携について理解し、実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
6	身体の発達と健康 時期に応じた身体的特徴と子どもの体格や運動機能の発育、発達を学習し、教育・保育の留意点を考察する。 (黒谷)	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	時期に応じた身体的特徴、運動機能の発達を理解し、実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
7	情緒・心理の発達と健康 子どもの知的・情緒的・社会的発達と心理的支援・人間関係の構築・コミュニケーション力の育成について学習し、教育・保育の留意点を考察する。 (黒谷)	・講義・DVD視聴・レポート提出(google classroom)・ポイント解説(Q&A)	子どもの知的・情緒的・社会的発達と支援について理解し、実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
8	運動能力の発達と健康 (乳幼児期の特徴) 乳児期の身体的特徴を踏まえ、発達段階に応じた運動機能を高める遊びを学習し、指導の際の留意点について考察する。 (黒谷)	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	乳児期の発達段階に応じた運動機能を高める遊びを理解し、実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認60分 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	基本的生活習慣の発達段階と援助方法 健康な生活のために必要な習慣、幼児時期に身に着けさせたい基本的生活習慣について学習し、指導の際の留意点について考察する。 (内田)	講義	幼児時期に身に着けさせたい基本的生活習慣や指導の際の留意点分かる。	予習：健康な生活習慣について知識を得る。 復習：幼児の基本的生活習慣獲得のための指導方法について知識を深める。	60	傾聴力 柔軟性 状況把握力
10	指導案の立て方／模擬授業グループ編成「基本的生活習慣」を啓蒙するための模擬授業(10分)のためのグループ編成及び指導案作成 (内田)	・前回の小テスト ・グループディスカッション	模擬授業「基本的生活習慣」(10分)のための教材選択ができる。	予習：模擬授業のための教材収集をする。 復習：学習課題を達成させるための展開を検討する。	60	働きかけ力 計画力 創造力 傾聴力
11	模擬授業 基本的生活習慣(栄養・食事・睡眠・遊び等)指導の模擬授業をグループ毎に行う。 (内田)	・発表	計画にしたがって、模擬授業を実践できる。	予習：学習課題を達成させるための展開を確認する。 復習：模擬授業の実践結果を自己検証する。		実行力 発信力 ストレスコントロール力
12	子どもの健康と安全教育① 乳幼児期を通しての運動能力の発達や遊びの中で育む安全の意識や配慮について学ぶ。 (内田)	・講義 ・ペアワーク	乳幼児期の運動遊びの中における、安全の意識や配慮事項が分かる。	予習：保育中の「ヒヤリハット」について知識を得る。 復習：子どもの特性に応じた安全教育を検討する。		働きかけ力 計画力 創造力 傾聴力
13	子どもの健康と安全教育② 計画的な保育によって育む安全の意識や事故がおきたときの緊急対応について学ぶ。 (内田)	・前回の小テスト ・発表	事故事例を知り、緊急対応方法が分かる。	予習：事故事例を収集する。 復習：救急対応について事故事例に応じて整理する。	60	実行力 発信力 ストレスコントロール力
14	幼児教育の現代的課題と領域「健康」の現代社会における今日的課題 ①生活のリズムを確立する ②食育の必要性 ③家庭との連携等 (内田)	・講義 ・グループワーク	幼児教育における「健康」に関わる今日の問題を挙げるができる。	予習：子どもを取り巻く健康に関わる現代の課題について知識を得る。 復習：課題に対する手立てを考察する。		働きかけ力 計画力 創造力 傾聴力
15	まとめ 健康な生活習慣の獲得に向けての支援について考える。 (内田)	オンデマンド配信 ・前回の小テスト ・発表	健康的な生活習慣の支援における必要性について述べるができる。	予習：健康的な生活習慣獲得の社会的問題点について知識を得る。 復習：健康的な生活習慣獲得の支援方法について考察する。		実行力 発信力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力